

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-110	A-141	22-086	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
COVID-19-Related Death in Patients with Alcohol or Substance Use Disorders アルコールまたは薬物使用障害患者における COVID-19 関連死			
執筆者			
Pavarin RM, Consonni D, Lucchi F, Pandolfi P, Marani S, Palmese F, Domenicali M.			
掲載誌			
Eur Addict Res. 2023;29(1):67-70. doi: 10.1159/000527542.			
キーワード			PMID
アルコール使用障害、 COVID-19、 コホート研究、 死亡率、 物質使用障害			36450270
要 旨			
<p>背景： 薬物またはアルコール使用障害 (SUDs/AUDs) 患者は一般集団よりも COVID-19 に感染しやすいと考えられるが、これらの患者における COVID-19 関連死亡率のエビデンスは不明である。本研究の目的は、一般集団と比較して AUD および SUD 患者の COVID-19 関連死亡率が高いかどうかを検証した。</p> <p>方法： 2009 年から 2019 年に、北イタリア・ボローニャ都市圏の公衆衛生サービスで初めて AUD または SUD と診断された患者のコホートにおいて、2020 年の死亡率 (2020 年 2 月 23 日から 2020 年 12 月 31 日まで) を評価した。生死は、2020 年 12 月 31 日または死亡時に患者が居住していた自治体の登録事務所で確認し、ICD-10 に従ってコード化された死因を得た。AUD または SUD 患者と、この地域の一般集団の死亡率について粗死亡率、標準化死亡比で比較検討した。</p> <p>結果： SUD 患者は、追跡期間 4,850 人年 (男性 3,734 人、女性 1,116 人) で、53 人 (男性 43 人、女性 10 人) の死亡が観察された。粗死亡率は 1,000 人年あたり 10.9 (95%CI : 8.3-14.3) で、SMR は 5.4 であった。AUD 患者は、追跡期間 4,212 人年 (女性 1,179 人、男性 3,033 人) で、128 人 (男性 101 人、女性 27 人) の死亡が確認された。粗死亡率は 1,000 人年あたり 30.4 で、SMR は 6.3 であった。COVID-19 による死亡は、SUD 患者では 6 例 (粗死亡率 1.2、SMR6.1)、AUD 患者では 14 例 (粗死亡率 3.3、SMR5.5) 観察された。男性の AUD および SUD 患者では、COVID-19 の死亡率が 6-7 倍高く。女性患者では COVID-19 による死亡は観察されなかった。SUDs と AUDs 患者は、すべての死因および COVID-19 関連死亡率において、一般集団と比較して高い死亡率を示した。</p> <p>結論： SUDs、AUDs 患者における COVID-19 死亡率が、これらの患者の臨床的、社会的な脆弱性に関連しているのかどうか、ワクチン接種などの予防戦略の必要性、実施可能性などの評価についても、さらなる研究が必要である。</p>			